

2021年4月号 セゾン投信 月次運用レポート

長期投資家の皆さまへ

すでに1年を超えてコロナ禍が続き、世界中で日常生活にウィズコロナは定着して、その社会環境を前提に成長戦略を描いて成果を出しているいくつかの事業がけん引することで、世界経済は着実に回復への歩みを進めています。まだコロナ終息には相応の時間を要するでしょうが、ワクチン接種が予想以上に進んでいる米国では、消費マインドが高水準に保たれていることに加え、バイデン政権による追加経済対策が更なる景気回復期待を押し上げて、株式市場は再び安定した上昇ムードに導かれ、日欧先進国市場も楽観基調が連鎖しています。実体経済は未だコロナ渦中にある中で、米欧先進地域の株価は史上最高値圏に、日本も日経平均が30年超ぶりの高値と過熱警戒感も高まっており、株式市場はバブルか否かの議論も盛んになって来ています。

米国ではインフレ進行に市場のフォーカスが向いて、長期金利は上昇基調にあります。そして他の通貨との金利差拡大がドル高傾向を強めており、それが新興国通貨下落とインフレ懸念増大へとつながる、或いは米中の政治対立がグローバル経済の回復基調を遮る大きな要因となり得るなど、いつマーケットに潮目も変化してもおかしくない中で、今は楽観の均衡が維持されていると言えます。

短期的に大きな価格水準の調整局面が訪れるとしても、コロナ後の展望は長期的に明るく、新たな社会構造と多様化する価値観、そして脱炭素に代表される地球環境の持続性を見据えた事業機会の台頭が、世界の経済成長をより堅固に支えて行く大前提となって行くことでしょう。そうしたメガトレンドを的確にとらえて行くのが本物の長期投資なのです。「セゾン号」はまだまだこの先長きにわたって、グローバルな成長からの果実を育み続ける旅が続きます。相変わらず悠然と進んで行きましょう。

代表取締役会長CEO 中野 晴啓

ご留意事項

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。投資信託に係るリスクや費用等は、それぞれの投資信託により異なります。投資元本の保証はありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

委託会社: セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第349号

加入協会: 一般社団法人 投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口: 03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド

3月の市場動向

株式

一部の地域で新型コロナウイルスの感染が再び拡大しているものの、米国主導の景気回復への期待が高まって上昇

米国を中心に金利上昇に対する警戒が根強いほか、欧州や新興国の一部で新型コロナウイルスの感染が再び拡大しているものの、米国でワクチン接種が進むなかで追加経済対策法が成立したことを受けて、米国主導で景気が回復することへの期待が高まって上昇しました。

債券

物価上昇観測が強まったことなどを背景に米国債が下落。ユーロ圏の国債は底堅く推移し、日本国債は上昇

米国で追加経済対策法が成立し、国債の発行拡大観測や物価上昇観測が強まって米国債が下落しました。ユーロ圏の国債は欧州中央銀行(ECB)が金利の上昇を抑制する方針を示したことを背景に底堅く推移し、日本国債は金融緩和が長期間継続するとの見方が強まって上昇しました。

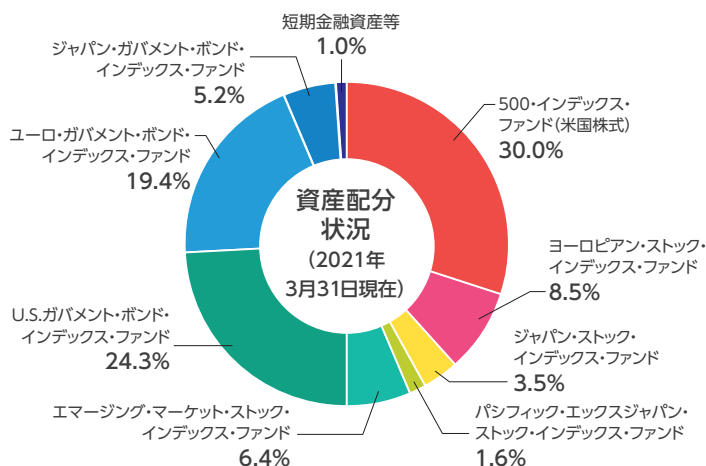
為替

ドルが大きく上昇し、ユーロと円が下落。円はユーロに対しても下落し、対ドル、対ユーロで円安

新型コロナウイルスのワクチン接種が進んだことなどを受けて米国で景気の先行きに対する楽観的な見方が広がってドルが上昇しました。ユーロはワクチン接種の遅れなどにより域内景気の先行きへの不透明感が強まって下落し、円は金融緩和が長期間継続するとの見方が強まって下落しました。

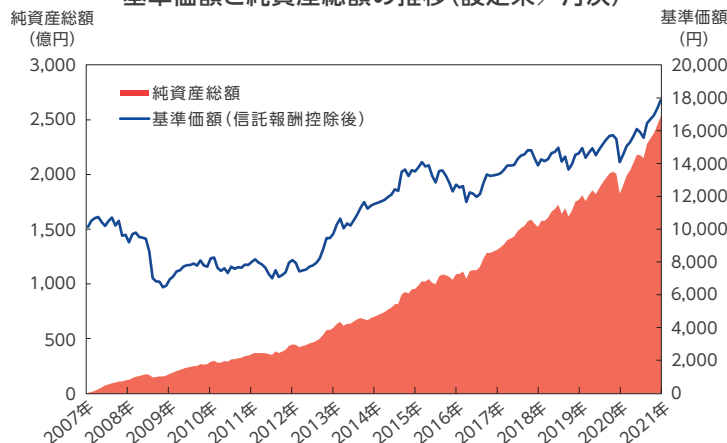
基準価額と純資産総額及び騰落率(2021年3月31日現在)

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
17,817円	2,533.5億円	78.17%	2.86%	12.20%	26.69%



※資産配分状況は小数点第2位を四捨五入している為、合計が100%にならない場合があります。

基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次)



3月の運用状況

今月の投資スタンス

今月は、積立などのご購入により、皆さまからお預かりした資金を利用して、定められた投資比率に従って、債券ファンドの購入を行いました。また、バンガードグループの拠点再編方針を受けて、事務継続性の検証を行った結果、米国株式に投資する外国投信(バンガード・インスティテュショナル・インデックス・ファンド)を、同じ指数に連動するバンガード社のETF(バンガード・500・インデックス・ファンド)へ移管しました。

ファンドマネジャーからの一言

今月は、米国債や新興国株式に投資するファンドなどが下落したものの、米国株式や欧州株式に投資するファンドなどが上昇し、基準価額の上昇要因となりました。為替は、対ドル、対ユーロで円安となり、基準価額の上昇要因となりました。結果、当ファンドの基準価額は上昇しました。当ファンドでは引き続き、将来への予測に依存することなく幅広く投資を行うことでリスクを分散しながら、皆さまの長期的な資産形成に資することができるよう努めて参ります。

運用部長 瀬下 哲雄

図1 3月度の投資先ファンド価格の変動による影響

※月末の投資比率に基づく概算値/投資先ファンド通貨建て

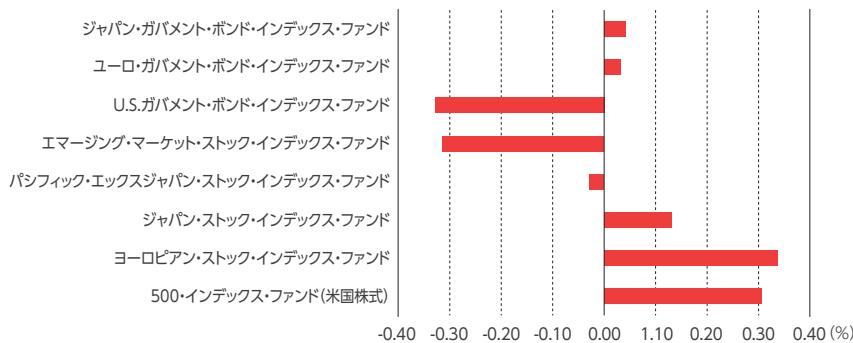
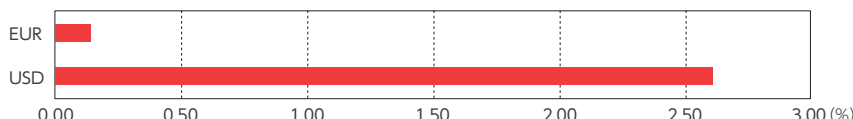


図2 3月度の為替変動による影響 ※月末の投資比率に基づく概算値



※変動要因については、右側の図1、図2もご参照ください。

※ファンドの基準価額は原則として米国株式は1営業日前、それ以外は2営業日前の市場の終値を反映しています。 ※詳細はセゾン投信HPに掲載しております「運用レポート(詳細版)」をご覧ください。

当ファンドに係るリスクについて

◆基準価額の変動要因

当社の運用、販売するファンド(以下、当ファンド)はファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としております。一般に、株式の価格は、個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は、市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受けます。([価格変動リスク]) また、当ファンドは、実質的に外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受けます。([為替変動リスク]) その他の当ファンドにおける基準価額の変動要因としては、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により投資元本を割り込むことがあります。運用による損益は、すべてお客さまに帰属します。当ファンドは預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものではありません。

◆その他のご留意点

当ファンドは、預金や保険契約と異なり、預金保険機構、貯金保険機構、および保険契約者保護機構の保護対象ではありません。加えて証券会社を通じて購入していない場合には、投資者保護基金の対象となりません。投資信託の設定・運用は委託会社がおこないます。

当ファンドに係る費用について

◆投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料:ありません。
- 信託財産留保額:換金申込受付日の翌々営業日の基準価額に0.1%の率を乗じた額が控除されます。

◆投資者が信託財産で間接的に負担する費用

○運用管理費用:ファンドの日々の純資産総額に年0.506%(税抜0.46%)の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的にお客さまにご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年0.57%±0.02%程度(税込)となります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券における信託報酬を加味した実質的な負担額の概算値です。各投資信託証券への投資比率、各投資信託証券の運用管理費用の料率の変更等により変動します。

○その他費用:信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用(有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む)、監査報酬(消費税含む)、立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことができません。

当資料は受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的としてセゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。お申込みにあたっては、セゾン投信からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

「Vanguard」(日本語での「バンガード」を含む。)および「tall ship logo」商標は、The Vanguard Group, Inc. が有し、セゾン投信株式会社および承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。また「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」は、The Vanguard Group, Inc. および Vanguard Investments Japan, Ltd. より提供、保証又は販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。従って、The Vanguard Group, Inc. および Vanguard Investments Japan, Ltd. は当ファンド・オブ・ファンズの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

委託会社：セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第349号
加入協会：一般社団法人 投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>
お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9：00～17：00(土日祝日、年末年始を除く)